



ホスピス住宅

ビーズの家



毎日のご飯を楽しみにしてほしいから



【スタッフ手作りの献立表】

スタッフの希望で毎週手作りの献立を作っている
出てくるご飯を漫然と、ではなく
「今日は炊き込みご飯の日だ！」なんて
毎日のご飯を少しでも楽しみにしてくれると嬉しい

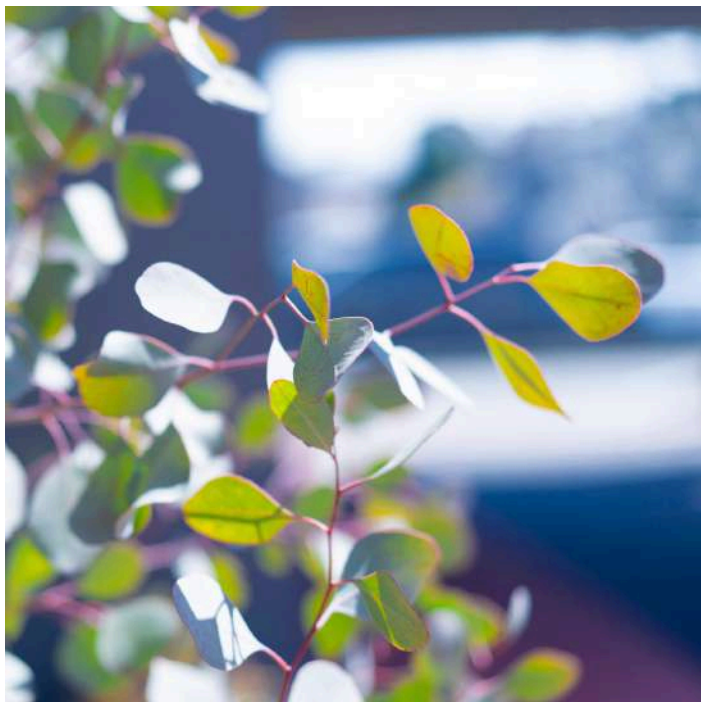
朝日や夕日を浴びて



【開放的な廊下】

介護ベッドでも通れる広さの廊下には
朝日や夕日がいっぱい広がる
そんな建物をつくりたかったのです

名もなき緑の力



【ウッドデッキから見る緑】

「可愛い木だよねえ」と言うので、
「なんていう木ですかね」と聞くと
「知らない」と言われて笑った

私以外、私じゃないの



【食後の一服】

今までの人生の継続の場所
タバコを吸ってきた人生なのであれば、
それを続けることが出来る場でありたい

ディナーというより、晩ご飯



【毎日手作りのご飯】

「何、食べたいですか？」

管理栄養士さんが直接利用者さんに聞きに行く景色をよく見かける
大抵そんなときは「お魚」とか「納豆」とか意外と特別ではないものを希望される
特別ではないご飯を食べる幸せもあるんだよね

百薬の長



【晩酌ならぬ昼酌】

「病気になってから大好きなビールも飲めなくなった
ここに来て、毎日お酒も飲めて幸せだよ」なんて聞くと、
お酒は幸せのための薬なのかもしれないって思った

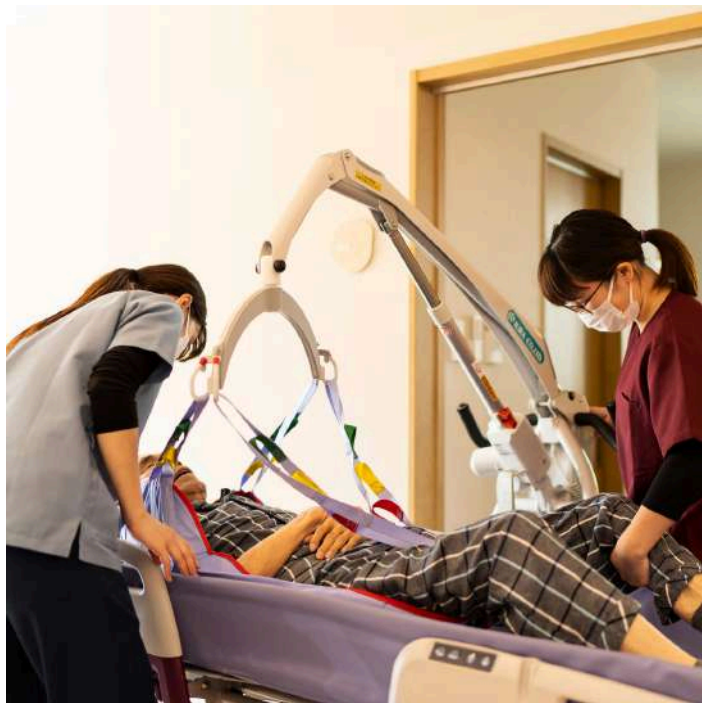
異世代交流戦



【とことん開かれた場所に】

スタッフが子供を連れてくる時は
入居者さんはいつの間にかに保育士さんに
親には見せてくれない顔で笑うから少し嫉妬しちゃいます

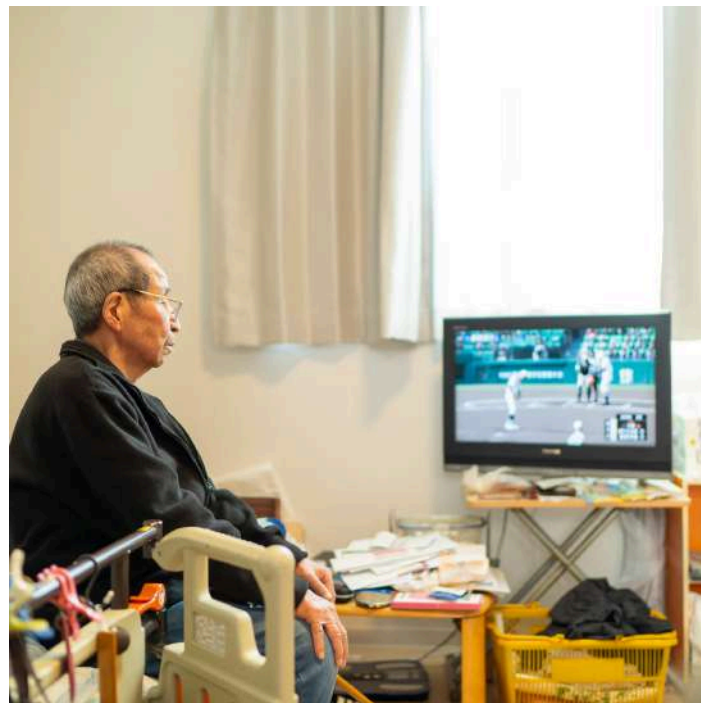
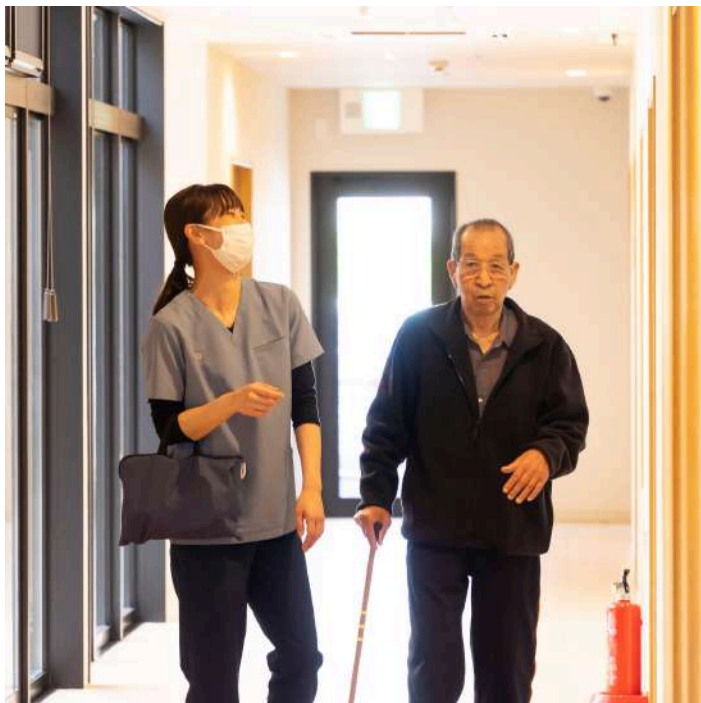
寝たきりでも、お風呂を諦めない



【特浴室・楽々お風呂ちゃぼん】

寝たきりになったってお風呂に浸かりたい
そんな当たり前を、当たり前に出えられる場所でありたい

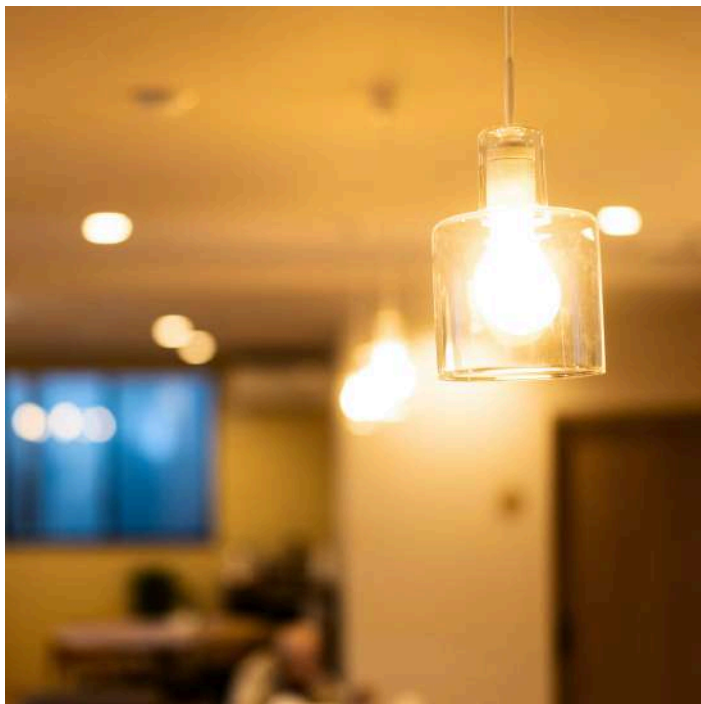
アウトドア派・インドア派、どっちの自分も本当の自分



【外出も自由、お部屋で楽しむのも自由】

外にお買い物に行く日も、お家の中で高校野球を見る日も、
どっちかが大事なんじゃなくて、どっちも大事
選択肢があることが本当の自由なんじゃないかって思う

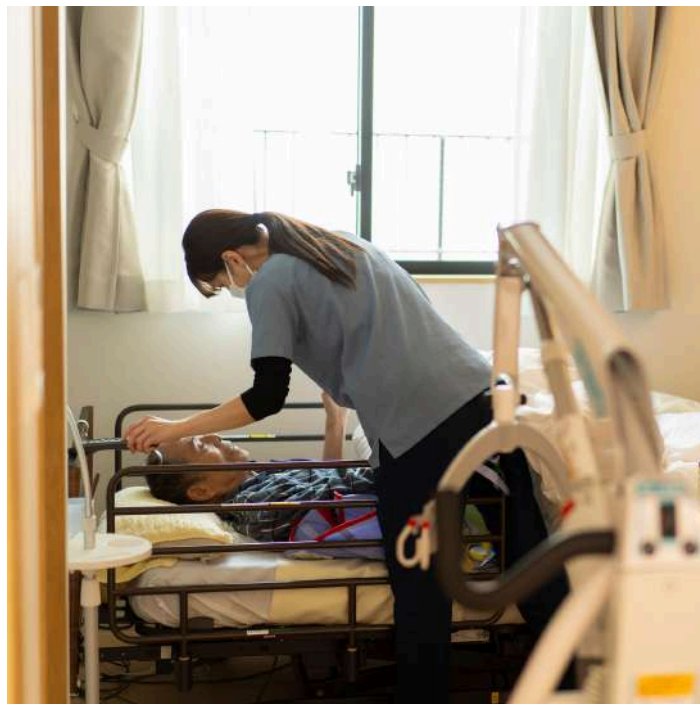
灯



【家と思ってもらえるように】

病院でも施設でも自宅でもない、
これまでの暮らしの延長としての「家」でありたい
だからこそ生活を灯す照明にはぬくもりを

ありがとう



【どれだけありがとうを伝えられるか】

どれだけありがとうと言われるかより、
どれだけありがとうと伝えられるかが大事だと思ってる
「辛い中、体を横にするのを手伝ってくれてありがとう」
そうやってお互いありがとうと言いあって、一緒に過ごしていきたい

私たちはみんな。

いのちの繋がりの中で生きている。

生かされている。

長い歴史の中で。

大きな自然の一部として。

この社会のかけがえのない一人として。

肩を触れ合うように。そっと静かに。

ときに舞うように。

手をとり、いのちを鳴らし、響きあっている。

孤独が広がったとしても。

心や温もりが遠く感じられたとしても。

すべてのいのちを一人にしないために。

だから今日も、想いを繋ぐ。

ピースのように。

いのち響く、場所です。

ホスピス住宅「ピースの家」。





ホスピス住宅ビーズの家

ホスピス住宅ビーズの家 南片江

福岡県福岡市城南区南片江2丁目31-9

Tel. 092-407-8361

ご相談・ご見学は以下までお問い合わせください。

株式会社beads

Tel. 092-407-7811

Fax 092-407-7812

